

2018年10月14日（日）

東エコクラブ「狭山丘陵の昆虫と遊ぼう」

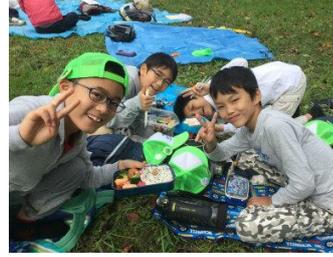
朝からの雨で開催が心配されましたが、何とか雨もあがり、時折晴れ間も見える中で、善福寺自然かんさつ会主催の狭山公園で行われた「狭山丘陵の昆虫と遊ぼう」に参加してきました。昆虫を捕まえて間近で観察し、その体の仕組みや役割、生態系を学び、自然の大切さを知るのが目的の観察会です。

本日の観察会オープニングは、多摩湖が目の前に広がる見晴らしのよい橋の上で行われました。雲間から見える東京の景色や地形、多摩湖についての説明をしていただき、自分たちが住んでいる地域について理解を深めました。その後はグループに分かれ、指導員の皆さんに教えていただきながら、昆虫採集や観察を楽しみました。



ショウリョウバッタ、キリギリス、蝶、イナゴ、トンボなど、様々な昆虫を捕まえることができました。それぞれの昆虫の特性に応じて、網の構え方も違うようです。また、狭山公園は広いので、それぞれの昆虫が好む、棲みやすいエリアが分かれています。また、元多摩動物公園昆虫飼育係長でいらっしゃる農学博士の高家博成先生も参加され、子どもたちの何気ない疑問にわかりやすく答えていただき、昆虫についての知識を深めることができました。最後のまとめの話では、それぞれのグループで捕まえた昆虫を発表して、その特徴について解説をしていただきました。ウスバカマキリなどの珍しい昆虫や、大きなトノサマバッタなど、グループごとに様々な昆虫に出会えたようです。もちろん捕まえた昆虫は、観察したあとに自然にかえしました。





今日はお昼にかかる活動でしたので、観察会後にはおうちの方が用意してくださったお弁当を美味しくいただきました。

善福寺自然かんさつ会の皆さん、本日は本当にありがとうございました。

